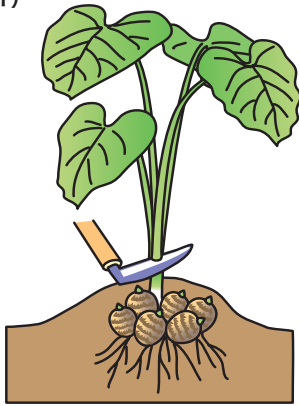
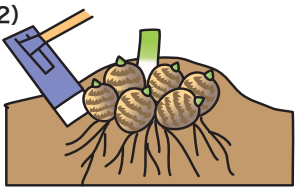


(図1)



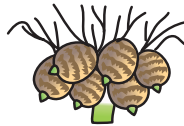
あらかじめ葉と葉柄を切り取り、作業しやすくしておく

(図2)



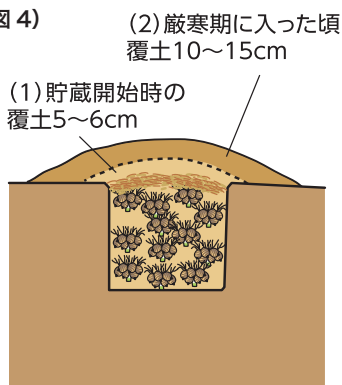
芋が外れたり傷ついたりしないよう注意して掘り上げる

(図3)



切り口を下に向けて詰め込む

(図4)



サトイモの主成分は、でんぷん類です。このでんぷんは加熱すると糊化し、消化吸収しやすくなります。カリウムも芋類の中では最も多く含んでおり、高血圧予防に効果的です。

タンパク質、ビタミンB群、Cなどを多く含み、栄養価が高いのが特長。しかも食物繊維も豊富で水分に富み、意外に低カロリー、体重が気になる方にもお勧めです。

秋になって盛んに育ち、芋が肥大したサトイモは、晩秋に入ると育ちが止まり、収穫期を迎えます。収穫適期の目安は、葉の緑が

野菜づくり

チャレンジ！

サトイモの収穫と上手な貯蔵のコツ

板木技術士事務所 板木 利隆

黄化し始め、葉が少し垂れ気味になった頃です。サトイモは寒さに弱く、1〜2回霜を受けただけで葉は容易に枯れてしまいますので、この頃が収穫の限界です。掘り遅れると品質を損ねるだけでなく、貯蔵した場合の故障芋が多くなってしまいます。

収穫に先立って、あらかじめ葉身を地上5〜6cmの高さで刈り取っておきます(図1)。芋や根は強大到太っているので、株の横の方に大きくくわを打ち込んで、子芋や孫芋を外さないよう注意して、株全体を丁寧に掘り上げます(図2)。

すぐに利用する場合は、その場で全ての子芋、孫芋、ひ孫芋を親芋から取り外します。多数の株を効率よく取り外すには、外側の外れやすい子芋を取り除き、残った株を手で持ち上げて、大きなビール瓶などで横から強く打つと、案

外傷つかずによく外れ落ちます。貯蔵する場合には、子芋、孫芋などを外さないよう、特に注意して取り扱います。外れてしまうとその傷口から傷み始めるので、貯蔵中の故障株が多くなります。

貯蔵する場所は、排水の良い畑を選んで、幅40〜50cm、深さ60cmぐらいの貯蔵穴を設けます。そして掘り起こした株を丁寧に運び、地上部の切り口を下方に向けて丁寧に積み重ね詰め込みます(図3)。反対に詰めると子芋が離れやすく、傷口から腐敗する芋が多くなってしまいます。

貯蔵穴を全部詰め終わったら、その上に麦わら、稲わら(カヤがあれば最高)などで覆い、5〜6cm覆土しておきます。さらに厳寒期に入った頃に10〜15cmの覆土を追加して寒さから守ります(図4)。

11月〜2月の雑草発生前に散布する事で、長期間雑草を抑えます！
来春の斑点米カメムシの発生を減らしましょう！

肥料・農薬のご紹介

水田畦畔の雑草防除に カンロン粒剤4.5



【特徴】

- ・長期間雑草を抑えます。
- ・粒剤なので、使用がとても簡単です。
- ・ギシギシ・ヨモギ・スギナ・ヤブガラシ等の難防除雑草によく効きます。
- ・平地も傾斜地も簡単に処理出来ます。
- ・斑点米カメムシが産卵する雑草を枯らし、発生量を少なく出来ます。

均一に散布すれば、非常に抑制効果の高い除草剤です！
フェンス際や傾斜地等への使用もOK！草刈作業が楽になります。

※「環境こだわり栽培」中のほ場には使用できませんので、ご注意ください。